

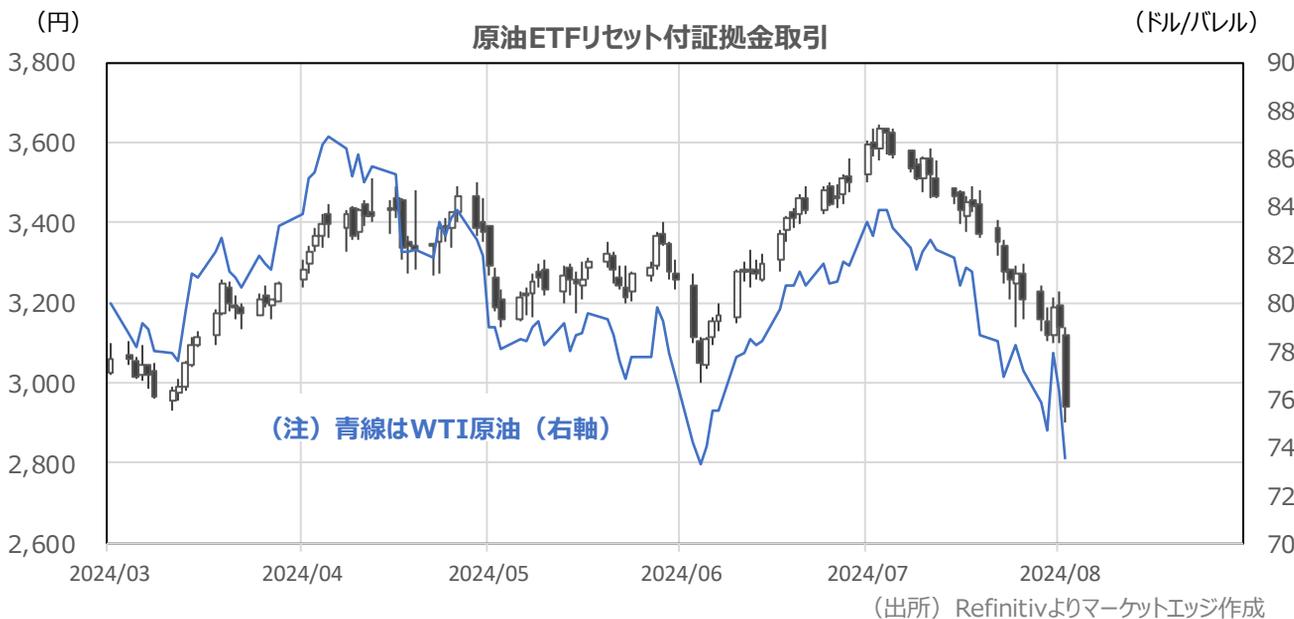
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/08/05号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



地政学リスクで一時急伸も、戻り売り優勢

NY原油先物相場は、1バレル=78.88ドルまで切り返した後、73ドル台中盤まで急反落し、6月5日以来の安値を更新する展開になった。7月31日にイスラム組織ハマスの政治指導者ハニヤ氏がイランで殺害されると、地政学リスクの織り込みが優勢になり、大きく切り返した。イスラエルの暗殺が行われた可能性が高く、イラン最高指導者ハネメイ師は報復を命じている。一方で需要不安も根強く、週末にかけては逆に下値を切り下げる展開になった。8月1日の石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）では、政策調整は見送られた。米原油在庫は5週連続の減少になった。

中東情勢を巡る不確実性が増している。4月にはイスラエルとイランがミサイルやドローン攻撃の応酬を行ったことが、今年最高値である84.52ドルまでの値上がりを促した経験もあるだけに、緊張感が高まっている。ただし、8月2日までにイランの報復攻撃が行われることはなく、地政学リスク主導の上昇は一時的なものに留まった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月26日時点）は、原油が前週344万バレル減、ガソリンが367万バレル減、石油精製品が153万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中東情勢次第で一時的な上振れも、戻り売り優勢の地合

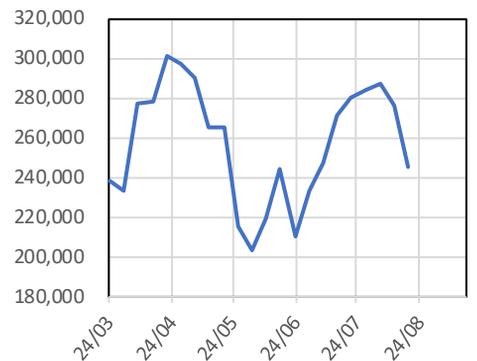
中東情勢が極端に不安定化しているが、需要不安を背景に戻り売り優勢の展開が続く見通し。イランがイスラエルに対する報復攻撃を明言している以上、いずれかのタイミングでミサイルやドローンなどによる攻撃が行われるのは確実な情勢にある。週内に実際の攻撃が行われると、イスラエルが反撃を行うのは必至であり、瞬間的な上振れリスクは高めの状態にある。ただし、現時点で全面戦争に発展するリスクは限定的であり、新たな上昇トレンドを形成するきっかけにはならない見通し。イランの原油生産、流通に影響が生じないのであれば、本格的な原油高までは求められない。

一方、需要不安は強化されている。7月中旬以降は中国経済の減速懸念がクローズアップされている。中国共産党は中央政治局会議で景気支援を行う方針を打ち出しているが、具体的な内容は明らかにされていない。非鉄金属や鉄鉱石相場など、素材市況全体が上値の重さを維持している。8月7日に中国の7月貿易収支が発表されるが、内需の落ち込みに対する警戒感が更に強化されると売り安心感が強まろう。

また、8月入りしてからは米経済の減速懸念も強くなっている。7月ISM製造業指数、7月雇用統計がともに低調な数値になったことで、米国の石油需要環境に対しても不透明感が増している。8月5日に発表される7月ISM非製造業指数の結果次第では、米経済の先行き不透明感が後退する余地もあるが、戻り売り優勢の地合を否定するのは難しい状況にある。

地政学リスクの織り込みで瞬間的に急伸しても、上値の重さを再確認する展開になりやすい。上下双方にブレ幅の大きい地合が続きやすいが、まだ底入れを確認していない可能性が高い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



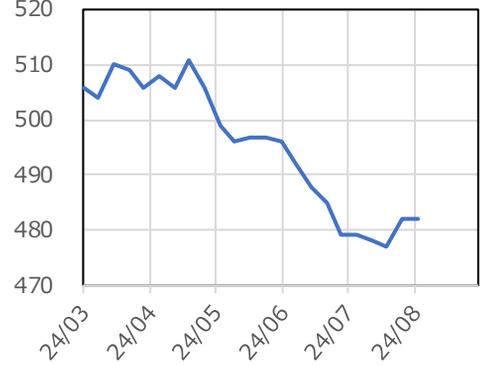
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

